

「目の目 手の目 心の目」展開幕

五感でアート楽しむ

県立美術館

見たり、触ったり、
聞いたりと五感でア
ートを楽しむ企画展
「目の目 手の目 心の目Part2」が9
日、岡山市北区天神町

の県立美術館で始ま
った。

布や木、石といった
多様な素材の作品に親
しめると好評だった2
015年に続き2回
目。気鋭のテキスタイル
作家榎尾聡美さん
(名古屋市)、間伐材
の活用に取り組み造形
作家南川茂樹県立大准
教授ら7作家が20点を
披露している。

早速訪れた夏休みの
家族連れらが、2千枚
以上の白布をつららの
ようにつり下げた島田

白い布が垂れ下がるテキスタイル作品を体感
する子どもたち



清徳県立大准教授の大
作の中に分け入った
り、美術家藤本由紀夫
さん(大阪市)が床に
置いた石のステイック
の上を歩いてからから
と鳴る音に耳を傾けた
り。岡山市立御津中1
年谷口颯月さん(12)は
「いつもの美術館と違
い、遊べる作品ばかり
で驚いた」と思い切り
楽しんでいた。

9月15日まで(8月
12日を除く月曜休館)
会期中はものづくりを
体験する多彩なワーク
ショップがある。問い
合わせは同館(086
-2225-4800)。

(金原正朗)

増さんデジに動画